

令和3年度より補聴器の購入費を助成へ 高齢者の聴力機能低下をサポート

〈総務文教〉

焼津市部設置条例の一部を 改正する条例の制定

Q 公民館を市長部局へ移管するメリットは。

A 公民館は地域の拠点として考えており、災害時の避難、福祉の活動など、役割が多岐にわたり、市長部局への移管により地域づくりを一層進めることが可能となる。

焼津市薬学生修学貸付 条例の一部を改正する 条例の制定

Q 本条例により修学資金を月額5万円から月額10万円に変更するが、金額を上げることの問題が解決できるか。

A 薬学生の採用については苦勞している。当院としてまずは、修学資金を10万円に上げ、学生の動向を確認したい。また、現在貸し付けを5、6年生に限っているが、1年生からにすることや、薬剤師の給料自体の改定も今後検討する必要がある。

〈市民福祉〉

高齢者保健福祉用具給付等事業費 付等事業費

Q 高齢者保健福祉用具給付等事業はどのような内容か。

A 令和3年度から開始する事業で、加齢に伴う聴力機能の低下によって、コミュニケーションが取りづらくなってきた高齢者に対して、補聴器の購入助成を行う。家族のストレス軽減や、本人のひきこもりの防止など社会参加の促進を図る目的で行うものである。

焼津市犯罪被害者等支 援条例の制定

Q 具体的な支援内容は。

A 総合相談窓口の設置、見舞金支給、住居・就労の安定、一時保護など、必要に応じて可能な支援を行う。

Q 支援事業を、市民へどのように周知していくか。

A 市ホームページ、広報紙のほか、リーフレットの作成などにより市民に周知していく。

〈建設経済〉

温泉事業特別会計予算案

Q 新源泉井戸と既存井戸との湯量の差はどのくらいあるのか。

A 新源泉井戸は県の許可量で日量約740tであり、既存の高草1号井と50号井は併せて日量約300tのため、湯量は倍以上になる。

大井川港活性化推進事業

Q 大井川港のポートセールスの内容はどのようなものか。

A 令和2年度に実施した近隣企業への聞き取り調査や、背後圏企業約1千社へのアンケート調査で大井川港の利用に関心を示した企業にポートセールスを実施し、貨物の陸上輸送を海上輸送に転換することで取扱貨物量を増やしていく。



焼津市立総合病院が短期入所の事業所指定 医療ケアが必要な重症心身障がい児者の短期入所利用へ

在宅重症心身障害児者短期入所利用確保事業

Q 本事業から短期入所可能な期間について伺う。

A 障がい福祉サービス利用者ごとに、サービス利用計画に基づき、ひと月あたりに利用できる日数が決定される。したがって、利用者ごとに利用できるサービス日数が変わる。

Q どんな医療的ケアが必要な方がいるか。

A 人工呼吸器を装着している方や、たんの吸引が必要な方、導尿が必要な方、経管栄養（胃ろう）の方などが対象である。

児童虐待及びDV対策事業

Q 児童虐待の早期発見の取り組みを伺う。

A 例年、児童虐待の早期発見や情報提供の促進のために、年度当初に市内公立小中学校への訪問を実施している。

令和2年度は、関係機関との連携強化のため、市内の公立保育園や認可保育所、小規模保育所、

公立・私立幼稚園を訪問し、家庭の養育状況や学校や園での様子が気になる児童の情報を吸い上げ、早期対応を心掛けた。

ひとり暮らし高齢者あんしん相談事業

Q 新規事業であるが、事業の詳細を伺う。

A 今後増加するひとり暮らし高齢者に対し、訪問支援による支援体制を構築するための取り掛かりとして実施する。

具体的には、健康や生活に不安を抱え、必要な支援に繋がっていない方を対象に保健師の資格を持ち、生活支援制度に精通した者が自宅を訪問し、本人の健康状態の確認、生活状況の不安などを聞き取り、必要な支援機関に繋ぐ。



企業誘致推進事業

Q 令和2年度事業は企業誘致のための土地の調査、計画の策定のためとされていたが、令和3年度はその計画を踏まえての事業内容ということか。

A 令和2年度は、市内遊休地調査や県内外企業のニーズ調査を行い、企業誘致推進に向けた計画を策定した。令和3年度は、その計画を踏まえ、大手企業が参加する首都圏等で開催される展示会等に出展し、焼津市のシニアプロモーション活動を実施する。また、製造業に留まらず、IT企業の誘致やワーケーションのPRも行う。

市制施行70周年記念事業

Q どのような事業を検討しているのか伺う。

A 市制70周年を祝う記念式典のほか、市外の方には焼津市の名前や情報を発信できるような、市民の皆様には焼津市の魅力を再認識してもらえそうなイベント等の開催に向けて、メディア等に打診をしている。